

足立の高3に選挙冊子

新聞販売組合 3000部寄贈

選挙権年齢の18歳以上への引き下げを前に、足立区内の新聞販売店をつくる「足立区新聞販売同業組合」が16日、区内にある都・私立高校計11校に、選挙のイロハをまとめた小冊子「選挙権を持つ君へ 新聞で考える未来」を寄贈した。区内の高校3年生全員分の冊子3000部が用意され、この日は区役所で、長

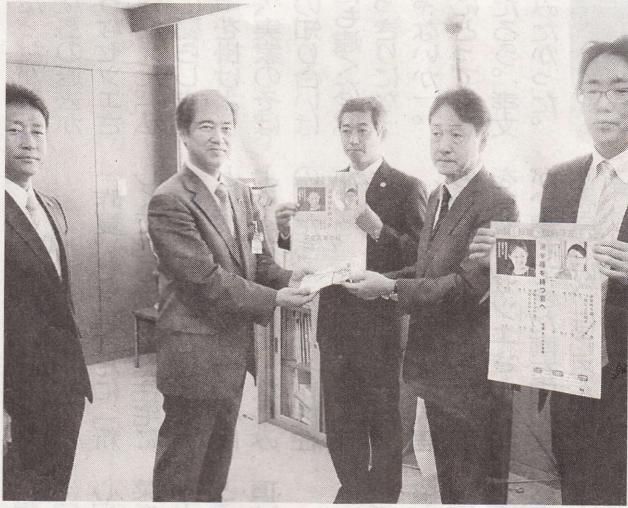
崎荘一郎・組合長から同区教委の定野司教育長へ目録が手渡された。長崎組合長は「新聞が、若い人にも政治や社会について考えてもらうお手伝いをできれば良い」と話した。

冊子は高校生に選挙につ



定野教育長(左)に目録を手渡す長崎組合長(左から3人目)

いての関心を深めてもらおうと、日本新聞協会が発行。A5判の全20ページで、国政選挙の投票の仕方や国会の役割などが、イラスト付きで分かりやすく解説されている。選挙権年齢の引き下げは、来月20日以降に公示される国政選挙からとなっている。



新聞販売組合が選挙パンフ贈呈

足立で高3対象に

選挙権年齢の18歳以上への引き下げを受け、足立区新聞販売同業組合(長崎荘一郎組合長、42店)は16日、区内11高校の全3年生を対象に、選挙権についてまとめた日本新聞協会発行のパンフレット3000部を贈呈した。写真。高校生に選挙への関心を

持ってもらい、新聞を読む若者を増やす狙い。

区役所であった贈呈式で、定野司教育長は「これを機会に新聞を読み、自分でものを考える高校生が増えるだろう」と感謝。計画を進めてきた福田和也前組合長(毎日新聞舎人町専売所所長)は「新聞に親しむ若者が増えてほしい」と話した。

【野島康祐】



18歳選挙権冊子など

足立の11高校に寄贈

今夏の参院選から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられるのを見据え、足立区新聞販売同業組合(長崎荘一郎組合長)は、区内の高校11校へ日本新聞協会発行の冊子「選挙権を持つ君へ」3千冊と啓発ポスター300枚を寄贈した。同区役所で16日に贈呈式

が行われ、長崎組合長から同区教育委員会の定野司教育長に目録が贈られた。写真。定野教育長は「この冊子を通じて生徒が新聞を読むようになれば社会の動きがよく分かり、自分で物事を考えることにつながる」と述べ、同席した都教育庁の早川剛生都立学校教育部長も主権者教育における新聞の重要性を指摘した。

都内・足立組合が高校に選挙権パンフ寄贈 5月から公立高で新聞を提供



足立組合執行部全員で教育長(左から3人目)を訪ね贈呈した

選挙権年齢の18歳以上への引き下げを受け、東

同区の定野司教育長に目録が手渡された。

京・足立区新聞販売同業組合(長崎荘一郎組合長)朝日・梅島)は16日午前、区内11高校(都立9校、私立2校)の全3年生を対象に、日本新聞協会発行のパンフレット「選挙権を持つ君へ」3000部、啓発ポスター300部を寄贈した。同組合では小学校、中学校に加え、今月2日から都立9高校で、学校教材事業として新聞各紙を納入している。高校生に新聞を読んでもらい、選挙に関心を持ってもらう狙いだ。

感謝の言葉を述べた定野教育長は「選挙権年齢の引き下げは、高校生が実生活と社会を結びつけて考える機会になる。新聞を読んで、自分でものを考える高校生が増えてほしい。学校で活字に出会えることは素晴らしいこと。新聞を通していろいろなものに興味を持ってほしい」と話した。

区役所で行われた贈呈式では、長崎組合長から

剛生都立学校教育部長は「良い社会人になってもらうためには、選挙の争点を知ることが大切。新聞を都立高の主権者教育に生かしていきたい」と感謝した。